

## ICT活用授業実践報告書

【 H24年度3年目研修 】

実施学年	6年	実施教科 (科目)	算数	実施日	H24. 11. 29
単元名	およその形と面積				
本時の内容 (項目)	およその面積の求め方を考えよう				
本時の目標	方眼のます目の数を数えたり、求積可能な図形とみて求積公式を適用したりすることを通して、曲線部分を含む形のおよその面積を求めることができる。				
授業場所	教室	ICT活用時の 授業形態	一斉学習・個別学習・グループ学習		
ICT活用場面	導入 展開・まとめ・他 ( )		ICTの主な 活用者	教師・生徒	
活用するICT 機器	パソコン、電子黒板、書画カメラ				
ICTを活用する 目的・ねらい・予想される 効果	どの教科でも交流の時間を大切にしているが、算数の図形の領域では、児童の考えを他の児童に示すのが難しい。自分の考えを黒板に書くと、時間がかかってしまうが、書画カメラを使って児童のノートをテレビに映すことで効率よく交流をすることができると思う。				
児童生徒の情報活用能力を 育てる指導場面・指導内容	電子黒板に自分のノートを映し、児童がその画面に線を書き込むなどしながら、自分の考えを説明できるよう指導する。				
利用するコン テンツ名・サ イト等	特になし				
参考にしたサ イト・文献 等	特になし				
事前の準備	パソコン機器の接続 操作の説明				

<p>指導計画（授業の展開）</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 問題を提示する。（曲線部分の面積を求める。）</li> <li>2. 課題を確認する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">曲線で囲まれた形の面積の求め方を考えよう。</div> </li> <li>3. 個人追究</li> <li>4. スクランプル交流        仲間と交流し、自分と同じ考えや違う考えを見つけ、より理解を深める。</li> <li>5. 全体交流  <b>【方眼のます目を数える】</b>        曲線で囲まれた半端の部分をどれも 0.5ha としておよその面積を求める。  <b>【三角形とみて求積公式を使う】</b>        面積を求めることができる三角形とみて公式を使っておよその面積を求める。</li> <li>6. まとめる        方眼を工夫して数えたり、面積が求められる形とみたりすると、およその面積を求めることができる。</li> <li>7. 練習問題を解く</li> </ol>	<p>（※情報モラルの指導内容）</p>
<p>ICT を活用した授業時の教師側（指導上）の留意点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの児童にも画面がしっかりと見えるように配慮する。</li> <li>・スムーズに操作できるよう、機器の接続の仕方を事前に確認しておく。</li> </ul>	
<p>ICT を活用した授業時の児童生徒の反応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のノートをそのまま画面に映すので、仲間に見られるということ意識して普段よりも見やすいノートづくりをすることができた。</li> <li>・自分のノートを画面に映し、その上からさらに書き込みながら説明ができるので、発表しやすく、発表意欲が高まった。</li> </ul>	
<p>ICT を活用した授業後の評価（実践の手応え）</p>	<p>図形の領域だと、交流の際に児童の考えを他の児童に示すことが難しいと感じていた。しかし、電子黒板や書画カメラを使うことで容易に児童の考えを他の児童に示すことができ、さらに電子黒板だとその上から画面に書き込むことができる。そうすることで、黒板に再度図形を描く手間を省くことができ、効率よく交流をすることができた。</p>	
<p>今後の課題</p>	<p>今までは ICT 機器を使って授業をすることが準備が大変で難しいイメージをもって、なかなか ICT 機器を使うことはなかった。しかし、実際に使ってみると準備も簡単で使いやすいことが分かった。黒板に書く手間も省け、じっくりと交流をすることができ、児童の理解を深めることができた。ICT のよさを感じることができた。今後は他教科でも日頃から効果的に ICT が使えるようにしていきたい。そのために、どの教科のどの場面で ICT が使えるようか考えながら教材研究をする必要があると感じた。</p>	

※情報モラルを指導したときは、その指導事項及び指導内容を記入する。